





審査結果報告書

2022年 2月 / 日

主査	氏名	岩瀬優美	
副査	氏名	田中克俊	
副査	氏名	添瀬裕子	
副査	氏名	神谷俊介	

1. 申請者氏名 : DM16003 足立 芙美

2. 論文テーマ :

Relationship between coping styles and parenting process in mothers of children with autism spectrum disorders
(自閉スペクトラム症児の母親のコーピングスタイルと子育てのプロセスの関連)

3. 論文審査結果 :

本研究は、自閉スペクトラム症の子どもを育てる37名の母親を対象にコーピングスタイルを測定し(研究1)、そのうち16名の母親を対象に、主に育児体験についてインタビュー調査を行った研究である(研究2)。

研究1では、Coping Inventory for Stressful Situation日本語版を用いてコーピングスタイルを測定し、階層クラスター分析により dendrogram を作成し、3群に類型化した。その結果、クラスター1(低情動対処群)は情動優先対処が課題優先対処と回避優先対処より有意に低く、クラスター2(高情動対処群)は、課題優先対処と回避優先対処に比べて情動優先型対処が高く、クラスター3(高コーピング群)は、3つの対処すべてが高かった。研究2では、母親の育児体験についてグラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて質的に分析した。その結果、「共有化(共有できない、言語化、共有される)」と「精神的安定化」の2カテゴリー、3サブカテゴリー、29概念が抽出された。[共有できない]サブカテゴリーにおいて3群で違いが認められ、〈支援のつながりにくい〉、〈周囲との兼ね合い〉などでも同様に3群で違いが認められた。

本研究は母親のコーピングスタイルと自閉スペクトラム症児の育児について検討しており、今後の支援につながる臨床的に意義のある研究である。以上より、本研究は博士課程の学位論文にふさわしいと考えます。